

1 せらにし保育所

2 今年度の活動概要

(1) 環境構成に関すること

裏山の整備(草刈り、遊戯ロープ設置、点検など)

広場の整備

園庭の整備(ファイヤーピット設置)

園庭の菜園



裏山



園庭 ファイヤーピット



広場



園庭 菜園

(2) 特に印象的だった遊びの事例に関すること

園庭の菜園

園庭の菜園では玉ねぎ、さつまい、ピーマンやきゅうり等の夏野菜等、一年を通じて色々な野菜を栽培しています。収穫した野菜は園庭で焼き芋をしたり、調理室で調理して貰い、給食で食べたりしました。



裏山遊び

裏山では四季を通じてハンモックで友だちと揺られたり。ターザンロープや木登りや鬼ごっこ等でしっかり体を使って遊びました。

ハンモック



竹の樋でクルミの実を
転がして遊ぶ。



ターザンロープ



紅葉の中でおやつを
食べました。



木登り



広場

広場では春にはシロツメクサの冠づくり等草花遊びを行ったり、バッタやカマキリ蝶等季節に合わせて虫探しを行いました。冬には年長児は凧あげも行いました。



園庭焚き火（ファイヤーピット）

年長児は2月に自分たちで裏山周辺で集めてきた杉の葉や枯れ枝を使い、マッチで火を着けて、たき火をしました。焚き火の火で暖まりながら、お湯を沸かしホットカルピスと焼きマシュマロを作り、美味しくいただきました。



まとめ

令和3年度はせらにし保育所周辺の環境を活かし、裏山遊びや散歩、広場での虫探し等行いました。子どもたちも裏山でターザンロープや鬼ごっこ、その場にある草木等を使ったまごことや、ごっこ遊び等を喜び行う様子が多くみられました。

日常生活の中ではなかなか自信や意欲の出にくい子ども、積極的に行動し興味や楽しみを広げる様子や、鬼ごっこ等で走りまわり、心も体も満たされ心身の成長や安定につながる姿も多くみられました。自然遊びの時間を確保し増やしていく必要があると感じました。

また、コロナ禍の中でも菜園活動や園庭でのたき火や焼き芋等では食べる事にもつなげることができ、食育にも通じる活動にもなりました。

令和4年度も、周辺の環境を活かし自然遊びの時間を確保し増やしていきながら、整備し整えた環境や遊びや活動だけでなく、子どもたちが主体的に自然遊びを行い、内容を広げていけるように努め、心身ともに安定した成長につなげていきたいと思えます。

